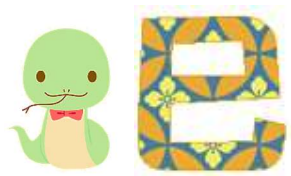


月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

■塗りつぶしの日は休館です。

令和7年
1月



新しい本の中から



大津市立図書館

発行No.297



Pick Up!



『もっと知りたい蔦屋重三郎』 田辺昌子/東京美術/721.8 ツタ

斬新な企画力と幕府に対抗する経営手腕を発揮した江戸時代の版元・蔦屋重三郎は、人気狂歌師と組み、歌麿・写楽を世に出しました。蔦屋プロデュースの本と錦絵が、オールカラー図版とともに解説されています。2025年のNHK大河ドラマ『べらぼう〜蔦重栄華乃夢噺〜』をより深く楽しめる一冊です。

『ChatGPT「超」活用術』

安達恵利子/ソーテック社/007.1 アタ パソコン

プレゼンや企画書の作成、データの整理、リサーチ、クレーム対応、情報収集、画像生成など、ChatGPTの基本から応用までを幅広くカバーし、すぐに実践できる具体的な活用例を多数紹介する。GPTsも取り上げる。

『作家とお金』

本田健/きずな出版/021.3 ホン

作家とはどんな人なのか、どうしたら作家になれるのか。有名な作家がどのようにお金とつき合ってきたのか。現代作家のビジネスモデルとは。お金という側面から作家の生活を見る。

『AIにはない「思考力」の身につけ方』

今井むつみ/筑摩書房/141.5 イマ 青少年

私たちは文章を読みながら思考力を使っている。その時に頭の中で働くのは「推論の力」。この力は人間だけにありAIにはない。その違いと謎を解き明かす。2020年刊「親子で育てることば力と思考力」を10代に向け改稿。

『知識ゼロでも楽しく読める!江戸の文化』

加唐亜紀[監修]/西東社/210.5 カ

江戸のお風呂文化はどんなもの?江戸の女性のファッションは?“江戸のメディア王”蔦屋重三郎とは?現代にも続くさまざまな文化が生まれた江戸時代を、イラストや資料を交えてわかりやすく解説。

『近くも遠くもゆるり旅』

益田ミリ/幻冬舎/291 マス

つまらない旅はない。多分、なんかはつまっている。近くも、遠くも、ゆるゆると。高知、奈良、青森からスイスまで、どこに行っても、のんびり自由な旅エッセイ。『幻冬舎 Plus』連載に書き下ろしを加え書籍化。

『地図でスッと頭に入るインド』

関口真理[監修]/昭文社/292.5 セキ

グローバルサウスの盟主としての地位を確かなものにしつつあるインド。世界的にますます重要な地位を占めながら、日本人にはまだ未知な部分が多いインドの基本と最新事情をイラストや地図を用いながらわかりやすく解説。

『官僚生態図鑑』

森永卓郎/三五館シンシャ/317 モリ

官僚の暴走が日本の経済社会停滞の大きな原因になっている。職業人生のほとんどは官僚とともにあり、間近で彼らを観察してきた森永卓郎が、官僚の生態とその変化のすべてをあますところなく伝える。

『となりのヤングケアラー』

村上靖彦/筑摩書房/369 ムラ 青少年

本来は大人が担う家事や家族の世話などを日常的に行っている「ヤングケアラー」。“居場所”をキーワードに、彼らに必要な支援などを考える。「クラスにいるあの子も?」「私も?」と思ったときに読みたい最初の一冊。

『明治初期の滋賀の教育』

木全清博/文理閣/372.1 キマ 大津 2 階

明治初期、全国各地の情報を集めて新時代に対応する学校づくりをめざした滋賀県。廃藩置県以前と直後の学校改革や、学制実施後の小学校の設立・開校、明治10年代の小学校や教員養成学校における地域の教育の実相を解明する。

『しめかざり探訪記』

森須磨子/工作舎/386.1 モリ

宮城から鹿児島まで、日本各地の土地によって異なる「しめかざり」の豊かな伝承を訪ね歩く。写真や図版も多数収録する。WEB連載等を加筆修正し書籍化。しめかざりの製作動画等が見られるQRコード付き。

『遺伝子はなぜ不公平なのか?』

稲垣栄洋/朝日新聞出版/467.5 イ

なぜ足の遅い遺伝子は存在するのだろうか。凡庸だと思える自分の遺伝子に、本当に価値はあるのだろうか。植物や動物たちの進化の歴史をたどりながら、自分のかけがえのない個性を伸ばす方法を探る。

『身近な野鳥の観察図鑑』

高野丈/ナツメ社/488 ㏊

身の回りでよく見られる野鳥164種の特徴がわかりやすい写真を掲載し、見分けるためのポイント、おもしろい行動や興味深い生態をイラストも交えて紹介。鳴き声と動画が楽しめるQRコード付き。

『とびきりかわいいリボン刺しゅう』

高村さわこ/主婦と生活社/594.2 ㏊

ローズガーデン、レモンとブドウのサシェ、カーネーションのメッセージカード…。リボン刺しゅうのかわいいモチーフをたっぷり紹介するとともに、登場するステッチをすべてプロセス写真つきで解説。実物大の図案も収録。

『いちばんやさしい魚の食べ方』

飛田和緒/オレンジページ/596.3 ヒタ

「切り身」と「刺し身」を使った、毎日作りたくなる簡単なメニューから、ごちそうストックまで、春夏秋冬のおいしい魚介レシピを紹介。『オレンジページCooking』掲載に加筆・修正。

『おやつ大全集』

本間節子/主婦と生活社/596.6 ホン

おやつのある生活を手軽に満喫しませんか?煮リンゴ、ホットケーキ、生メロンクリームソーダ、いちごミルクゼリー、蒸しまんじゅうなど、「家にあるものでだいたい作れる」おやつレシピを紹介。

『観葉植物を枯らさないための本』

ヴェロニカ・ピアレス/グラフィック社/627.8 ヒフ

観葉植物を枯らさず育てるヒントが満載の栽培ガイドブック。人気の観葉植物116種を取り上げ、世話の仕方と困った時の対処法を丁寧に解説。鉢植え植物の買い方やシチュエーション別おすすめの観葉植物ベスト5も掲載。

『「人は右、車は左」往来の日本史』

近江俊秀/朝日新聞出版/682.1 オオ

人や乗り物、神仏は、どのように道路を通っていたのか。権力は道路整備を通して、どのように国家を治めたのか。文献史料、都城や鎌倉の道路遺構、故実書や絵図、日記などをもとに、道路利用から日本社会の特質を描き出す。

『ルーヴル美術館』

藤原貞朗/講談社/706.9 フシ

かつて近代化に乗り遅れた「カオスの迷宮」は、いかにして世界中から憧れられる「最強のブランド」となったのか。文化国家フランスを荘厳するルーヴル美術館の100年を、戦略と欲望、政治と資本が渦巻く歴史として描き出す。

『訳して、書いて、楽しんで』

村井理子/CCCメディアハウス/801.7 ムラ

出版翻訳家になるには?仕事が絶えない状態になるには?キャリアの幅を広げるには?稼業としての出版翻訳業と、稼業としての作家業について、人気翻訳家でエッセイストの著者が語り尽くす。

『言語学者も知らない謎な日本語』

石黒圭/教育評論社/814.9 イシ

家庭内で若者言葉を使う三姉妹。言語学者の父には意味がわからず、例文を使って説明してもらうことになり…。「わかりみが深い」「メタい」「豆腐メンタル」「うれしみ」といった若者言葉を、父娘の会話とともに解説する。

『父のコートと母の杖』

一田憲子/主婦と生活社/914.6 イチ

人は「子供」という立場を抜け出して、自分の親と同等の「大人」という目線になったとき、ひとりの人間として親と再会するのかもしれない。老いた両親との出会い直しの過程で、何を見つけ、何を感じ、何を考えたかを綴る。

『ミセス・ハリス、モスクワへ行く』

ポール・ギャリコ/KADOKAWA/933 キヤ 文庫

米ソ冷戦時代のロンドン。家政婦のミセス・ハリスは、モスクワ旅行の富くじを当てる。彼女には、国の違いに引きさかれた若い恋人たちのための秘密の計画があって…。何歳になっても夢をあきらめない、勇気と奇跡と愛の物語。

『バイト・クラブ』

小路幸也/中央公論新社/F ショ

カラオケ屋の一室にある<バイト・クラブ>。集まるのは「暮らし」のためにアルバイトをする高校生たち。部活に入っていないくても、彼ら彼女らなりの青春を謳歌していた。でもある日…。『婦人公論.JP』連載を加筆・修正。

『綱を引く』

堂場瞬一/実業之日本社/F トウ

東京・蒲田の綱引きチーム「プルスターズ」は、全国大会優勝の実績も持つが、高齢化や不況の影響で休眠状態。53歳のキャプテン真島とアイルランドからの留学生ケリーの出会いがきっかけで、チームを立て直すことに…。

図書館のホームページで蔵書検索や本の予約ができます。

また、登録された方にはメールで新着本をお知らせする「新着案内メール」を配信しています。

※メールアドレスを変更された場合はご自身でホームページより変更手続きをお願いします。



スマホ用ホームページ

